

日本赤十字放射線技師会

日 赤 放 技 ニ ュ ー ス

平成20年度 第1号

発行日 平成20年4月

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・

賢者の石垣 --- JRCAT-PEDIA ---

日本赤十字放射線技師会
会 長 益 井 謙

会 告・・・・・・・・・・・・・・・・

業務研修会
定期総会

お知らせ

日本赤十字医学会総会のご案内
会費納入について
平成20年度会員調査のお願い
会誌投稿のお願い

本会の動き・・・・・・・・・・・・・・・・

メーリングリスト及び分科会登録についてのお願い
日本赤十字放射線技師会メーリングリストの運用について
分科会活動
第4回常任理事会議事録
第5回常任理事会議事録



日本赤十字放射線技師会
会 長 益 井 謙
所 属：松江赤十字病院

賢者の石垣 --- JRCAT-PEDIA ---

W i k i p e d i a (ウキペディア) は、誰もが自由に参加・書込みが出来るウェブ上のフリー百科事典。ウキペディア日本語版は、実に44万本以上の記事で埋められ、日々編集作成され進化しています。そこは誰もが自由に参加し、自慢の知識と知恵を書き込み、閲覧し、国民の知的好奇心を充たし、向学心を刺激し補足しています。そして刻々、人類の知識の源泉、共有資産として膨張しながら蓄積しています。学問の究極の役割が、その共有性と伝搬性にあるとすれば、産まれた直後からその目的を果している学問の申し子と云えるでしょう。しかし、アキレスにその腱を神が与え、母テティスさえ守れなかったように、このフリー百科事典にはたったひとつのアキレス腱があります。それは、誰も自由に自在に参加できるため、情報の精度や信憑性が必ずしも保証されていない事です。巧みに情報を操作し、虚実を上手く織り込めば、その限りない善意性が悪意に変る危険性があります。古今東西、名うての辞書や事典編纂者が、その精魂と面目を傾け、名誉と誇りを賭して編み上げた作品とちがう、匿名制の弊害でもあります。

吾等が日本赤十字放射線技師会ホームページ (HP) やこの日赤放技ニュースで紹介している、メーリングリスト (ML) や学術分科会は、会員の顔の見える (アキレス腱のない) ウキペディアを目指します。J R C T A R T - p e d i a (日赤放技ペディア) です。全会員が総力あげて作り出す、全会員のための学術事典です。学問の精度、信憑性を会員総力で限りなく磨き、高めて行く。その学問的目的と成果を掲載し、臨床現場で実践する。その向上した技能技術学を広く遍く提供し、医療チームと患者様に認知していただく。その為に、ウェブを充実し、インターネットを存分に駆使し、ウェブ・ファーストからウェブ・パーフェクトを試みています。個人個人の力量、学量に相応しい大小の賢者の石を持ち寄って、選ばれた世話人が、角を削り、力を併せて持ち上げ、ゆっくり確実に積み上げる。1200余名の賢者の石で築く英知の石垣です。戦国時代、穴太衆 (あのうしゅう) が積み上げた野面積 (のづらづ) みのように、荒くても不自然でも、地力を分散し、地下水を分流し、排泄する機能を持たせて崩壊を未然に防ぎ、半永久に亘ってビクともしない石垣作りを志向します。今回分科会構築にあたって、全国の赤十字病院の診療放射線技師を隈なく当たってみて、その人材の豊富さにあらためて感嘆感服しました。今回立ち上げいただいた、三つの分科会 (CT・MR・乳房画像) の世

話人はいずれも、心・技・体の充実した碩学向学の同志で、赤十字病院が誇れる至宝珠玉であります。その世話人に、持ち寄られた賢者の石を、その卓越した見識と技量で積み上げて、崩れないよう設計し、構築していただきます。その作業や対話を通じて、会員が連繋し、ヒューマンネットワークを編んで行き、信頼性の高い情報交換を行っていただけるように、お願いしてあります。おそるおそる？興味半分？怖いもの見たさ？半信半疑？で結構です。軒先は短く、敷居は低くして会員の皆様をお待ちしております。他の分科会立上げの要請、技師会についての要望など、会員の生の声を訊きたく思っています。MLも併せてご利用下さい。信頼する仲間が、敬服する同志が、尊敬できる師匠がウェブ上で待って居て、バリス王子の放つ矢から、会員諸君のアキレス腱を守ってくれると思います。

平成 20 年 4 月 1 日

会 告

会員各位

日本赤十字放射線技師会
会 長 益 井 謙

第 5 5 回 日本赤十字放射線技師会 総会の開催について

謹啓 陽春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
本会も皆様の暖かいご理解と、ご協力を賜り益々の発展充実を続けております。
つきましては下記のとおり第 5 5 回定期総会を開催いたしますのでご案内申し上げます。

記

日 時 平成 20 年 6 月 2 日 (月) 16 時より 17 時まで (予定)

場 所 日本赤十字社 201 号会議室

議 題

- 1) 平成 19 年度事業報告
- 2) 平成 19 年度決算報告
- 3) 平成 19 年度監査報告
- 4) 平成 20 年度事業案報告
- 5) 平成 20 年度予算案報告
- 6) その他

その他 情報交換会を定期総会終了後、日赤会館 1 階食堂にて開催いたします。
参加費は、3,000 円です。本年度もより多くの皆様に参加していただ
けますようお願い申し上げます。

問合せ先 日本赤十字放射線技師会 事務局
〒690-8506 島根県松江市母衣町 200
松江赤十字病院 放射線科部内 磯田康範
電話番号 0852-24-2111
e-mail: jrcst@next.odn.ne.jp

平成 20 年 4 月 1 日

会 告

会員各位

日本赤十字放射線技師会
会 長 益 井 謙

平成 20 年度全国赤十字病（産）院診療放射線技師業務研修会の開催について

謹啓 陽春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
本会も皆様の暖かいご理解と、ご協力を賜り益々の発展充実を続けております。
つきましては下記のとおり平成 20 年度業務研修会を開催いたしますのでご案内申し上げます。
本年度は、「乳房画像」をテーマとして乳房画像分科会と連携し、会員の皆様の期待に添えるよう準備を進めております。

記

日 時 平成 20 年 6 月 2 日（月）午前 9 時～ 3 日（火）午後 3 時まで（予定）

場 所 日本赤十字社 2 日（月）201 号会議室
3 日（火）101 号会議室

内 容 講演 3 題（本社講演、学術講演、教育講演）、研究発表、その他

学術講演「知っておきたい乳腺診断の流れ」

講師 尾形智幸氏（さいたま赤十字病院 放射線科部）

教育講演「医療機器の安全確保について」

講師 野口雄司氏（富士フィルム株式会社）

プログラム 4 月末、速報形式でホームページ等に掲載します。

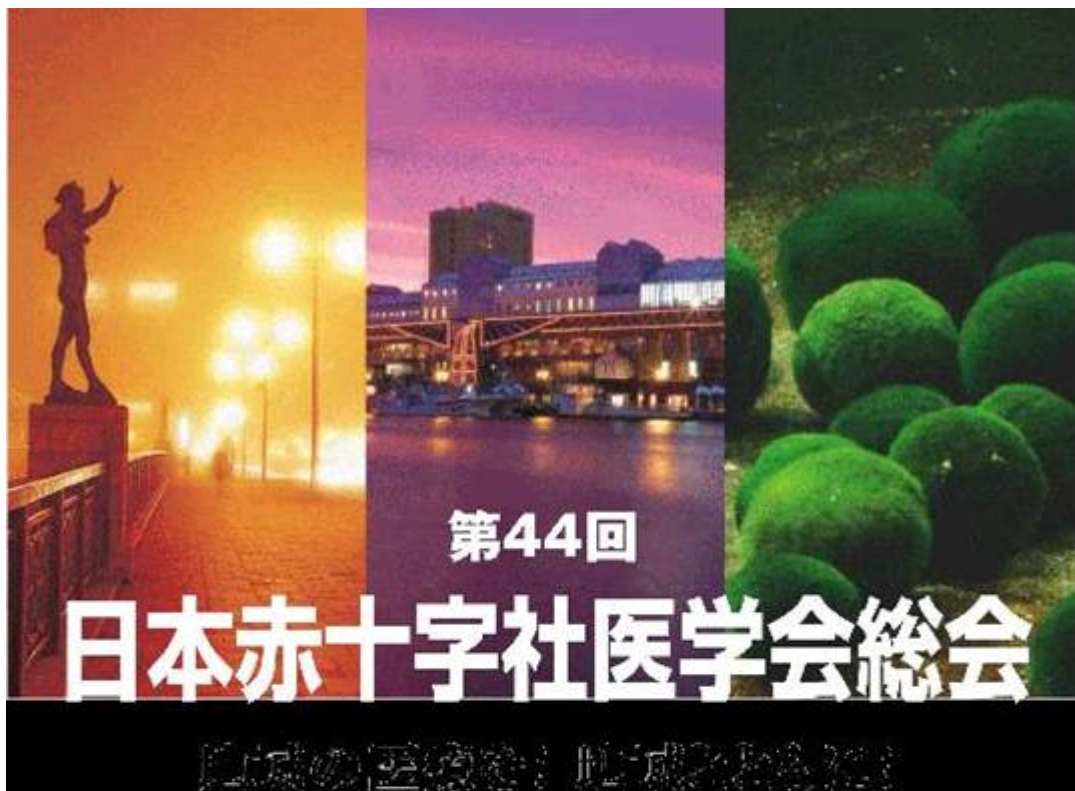
問い合わせ先 日本赤十字放射線技師会 学術部
〒371-0014 群馬県前橋市朝日町 3-21-36
前橋赤十字病院 放射線科部 久保田 利夫
電話番号 027-224-4585（内）3012
e-mail : t-kubota@maebashi.jrc.or.jp

以 上

会員各位

赤十字放射線技師会事務局

平成20年10月11日、12日の両日に向け、釧路赤十字病院を当番病院とし、第44回日本赤十字医学会総会が開催されます。演題登録、参加登録が公開されました。詳細は、ホームページが開設されておりますのでご覧下さい。



～北の大地から赤十字のメッセージを～

会期／平成20年10月9日(木)・10日(金)

会場／釧路市観光国際交流センター

釧路全日空ホテル

釧路プリンスホテル

会長 二瓶 和喜(釧路赤十字病院長)

プログラム

教育講演：「崩壊した地域の医療をいかに立て直すか～北海道の取り組みから～」

北海道大学 名誉教授 加藤 紘之 氏

特別講演：「命をとおして伝えること」

旭川市旭山動物園 副園長 坂東 元 氏

シンポジウム：「地域医療を守るための取り組み」



事務局：釧路赤十字病院医学会総会準備室

〒085-8512 釧路市新栄町21番14号

TEL:0154-22-7171(代表)

FAX:0154-24-7880

釧路赤十字病院ホームページ <http://www.kushiro.jrc.or.jp>

会費納入について

日本赤十字放射線技師会 財務部

平成20年度の日本赤十字放射線技師会会費の納入をお願い致します。

日本赤十字放射線技師会の運営は、会員の皆様の会費にて成り立っております。会費の納入は、日本放射線技師会会費納入規定により当該年度当初に納入するものとなっております。円

滑な運営のため、早期の納入をお願いいたします。また、本社研修会時においても受付をいたしますので宜しくお願いいたします。

1、会費額

現会員	3,000円(年会費)	3,000円
新入会員	3,000円(年会費)+1,000円(入会金)	4,000円
再入会員	10,000円(再入会金)	10,000円

* 会費三年間未納の場合退会とし、再入会金は10,000円とする。
(日本赤十字放射線技師会会費納入規定より)

2、納入方法

会費の納入は、日本赤十字放射線技師会財務担当まで銀行振込にてお願いいたしております。(振込みにあたっては個人名ではなく病院名でお願いいたします)

口座名

____日本赤十字放射線技師会 一般会計 前川栄寿

口座番号

____京葉銀行 成田支店(311) 普通 8052321

3、お問合せ

振込に関する事、請求書に関する事など、会費納入についてご不明な点等ございましたら、担当者までご一報いただければ幸いです。

日本赤十字放射線技師会 財務部 前川栄寿

(所属) 成田赤十字病院 放射線科部

(電話) 0476-22-2311

(メールアドレス) booster@u01.gate01.com

平成20年度会員調査のお願い

組織調査部 石田智広

新年度を迎え、各施設におかれましては人事異動の辞令交付を終えた事と存じます。組織調査部では年頭調査といたしまして新入会者や退職会員、役職等の変更有無など「平成20年度会員調査」を行います。

技師長(課長)及び会員の皆様には台帳内容の正確性を記するためにご協力をよろしくお願い申し上げます。

調査用紙はお手数ですが、4月30日(水)までに返信下さいますようお願い致します。

お知らせ

日赤放技ニュース

第1号

会誌投稿のお願い

日本赤十字放射線技師会 広報部 清水文孝

日頃より会員の皆様には、会の運営にご協力、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年度の技師会ニュース及び会誌発行を例年通り実施してまいります。つきましては、会員の皆様には、施設紹介、新入会員紹介等に関わらず、ご投稿をお願いいたしたいと存じます。また、業務研修会等におきましては、ご指名にて執筆をご依頼いたしたいと考えておりますので、投稿依頼状がお手元に届きましたならば、ご配慮のほどよろしくお願い申し上げます。

更に、学会等でもご活躍の会員の皆様が、多々いらっしゃると思います。そこで、学术论文、速報論文、原著論文等も当会誌にも投稿していただければ幸いです。また、会員の皆様には、様々な領域において、素人の域を超えた方もいらっしゃると思います。そこで、その様な会員の皆様に投稿していただきたいことや会員の紹介をしていただければ幸いです。紹介をしていただいた場合、広報部より改めて執筆依頼をお願いいたしたいと思っております。

技師会ニュース年3回、会誌年1回の発行という事もあり、時事に即していないとのご指摘もあろうかと存じますが、運営上のこともご理解いただき、様々な投稿をお待ちしております。

尚、投稿に関しましてご質問、問い合わせは下記までお問い合わせください。

投稿方法について

各論文、一般投稿等については、原稿を作成した機種、ソフト名を記載し下記のメールアドレスまで添付してください。

掲載

投稿日時及び内容につきまして検討させていただき、技師会ニュース若しくは会誌掲載とさせていただきます。

問い合わせ及び投稿について

日本赤十字放射線技師会 広報部代表 清水文孝
施設名：深谷赤十字病院 放射線科部
住 所：〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西5-8-1
電 話：048-571-1511 (内) 1218
メールアドレス：frc-xp@tbe.t-com.ne.jp

メーリングリスト及び分科会登録についてのお願い

企画部 新美 孝永
学術部 久保田利夫、浅妻 厚
現在、当技師会では閲覧型のHP（ホームページ）から参加型のHPへと機能強化を進めて

います。その具体的特長として、会員の皆様がHPの分科会コーナーにメッセージや質問などを直接書き込めるようになります。しかし、現段階ではHPへの直接書き込みはできませんので分科会の活動は、メーリングリスト（ML）を使用しての質疑応答が中心となっています。また今後HPの改善などにより分科会への参加形態は変わっていくと思われませんが、分科会への参加には分科会の入会と同時にMLへの登録が必要です。

MLは日本赤十字放射線技師会員を結ぶ大切なパイプ役です。分科会などの技師会諸活動を充実させるためにも下記アドレスにて、ML及び分科会登録をお願い申し上げます。詳しくは日本赤十字放射線技師会HPをご覧ください。

日本赤十字放射線技師会HP：<http://www.jrcart.jp/>
ML登録は、art-ac-admin@nagoya2.jrc.or.jp
分科会登録は、asazuma@kobe.jrc.or.jp

日本赤十字放射線技師会学術部メーリングリスト使用上の注意

当MLは、以下のルールで運用します。円滑な情報交換を行うために、インターネット上の常識と合わせ、これらを遵守されるようお願い申し上げます。

1. 投稿先アドレスは、art-ac@nagoya2.jrc.or.jpです。
2. メーリングリストメンバー以外の投稿はできません。
3. メール本文には、氏名と所属施設名を明記して下さい。
4. 投稿は、テキスト形式で行って下さい。
5. ファイルの添付は禁止です。
6. 40KBを超えるメッセージは、当MLへの投稿はできません。
7. 「売ります/買います」等の、営業行為はご遠慮下さい。
8. 特定の個人若しくは団体などを誹謗中傷するような内容は禁止します。
9. 上記5. 6. に該当するものを発見した場合、管理者側で削除することがあります。
10. ML管理者のアドレスは、art-ac-admin@nagoya2.jrc.or.jpです。
お問合せはこちらへお願いします

分科会活動総括

学術部 久保田利夫、浅妻 厚

分科会入会者が徐々に増え、2月6日現在で分科会の登録会員数が33名になりました。本年は現在の3分科会に加え、RI・治療・医療情報の分科会も立ち上げる予定ですので、選択

肢も広がります。会員皆様の分科会登録及びメーリングリスト (ML) 登録をお願い致します。登録方法については、ホームページのML登録及び分科会登録をご覧ください。

分科会がスタートして約3ヶ月が経ちました。分科会の活動状況を報告します。

1、下記の分科会ニュース1号・2号をHP、MLに掲載しました。

JRCART分科会 News. 001 RSNA (北米放射線学会) トピックス

December. 2007

RSNAでは、各臓器の放射線発がん感受性を示す組織加重係数を見直した2007 ICRPの新勧告について盛んに議論が行われていました。新勧告では、乳腺に対する加重係数が0.05から0.12と2.4倍に引き上げられ、(これは水晶体に近い値とのことです。)生殖線に対する係数が0.2から0.08に引き下げられました。

このことは、特に放射線を多く使用するCT検査において、胸部検査で今以上に検査の必要性・線量の適正化が強く求められるものと思います。また、乳がん検診におけるマンモグラフィーの位置づけも変化してくる可能性も秘めていると思います。

CT分科会 長野赤十字病院 八町 淳

JRCART分科会 News. 002

January. 2008

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお申し込み申し上げます。分科会では、2007年全国赤十字施設における各種モダリティの設置状況データを作成しております。最新型機種が稼動している施設などを紹介することもできますので、機種選定に関わる情報収集とか装置導入時の研修など、ご利用のほどお願い致します。お問い合わせ等は、メールにて各分科会へお願い致します。

また、MR・乳房画像分科会ではアンケート調査を実施いたします。

ご多用中恐縮ですが、是非ご協力のほどお願い申し上げます。

分科会一同

2、会員からCTに関する質問「CTのWW、WLについて」、「中心部と辺縁の標準偏差の比較」があり、MLを通じて意見交換などが行われました。

乳房画像分科会

さいたま赤十字病院 尾形智幸

活動状況

乳房画像分科会では、現状を把握するため、会員皆様の協力の下、マンモグラフィを中心としたアンケート調査を行いました。まとめた集計結果は、分科会活動方針を定めるためのデータとして大切に使用させていただきます。また、皆様の業務資料としても役立てて頂きたいと思っております。

平成20年6月の業務研修会では学術部の協力により、乳腺を中心としたプログラムを組んで頂きました。参加される皆様には有意義な研修会が出来るよう頑張ります。

今後は「よい乳腺検査」に向けて、皆様と色々な事にチャレンジし、頑張っていきたいと思っておりますので、これからもご協力、よろしくお願い致します。

本会の動き (分科会活動)

日赤放技ニュース

第1号

MR分科会の活動

大阪赤十字病院 高津 安男

MR検査は、放射線科における業務の中でも、放射線を使わない数少ない検査の一つです。それゆえの特異性や安全性に関しては、他の検査と一線を引いている面があると思われれます。そして、撮影方法や運用に関すること、安全管理など、他施設が行っている方法に関心がある

方々もおられるのではないのでしょうか。これらの情報共有や問題解決をしていくためのツールとして、分科会のメーリングリストを活用することは方法の一つではないかと考えています。会員が気軽に質問・発言ができ、よりよい検査ができることはお互いにとって大きなメリットです。

メーリングリスト上の質問に関しては、MR分科会世話人一同、可能な限りご期待に沿うように努力いたします。しかし、万能で完全な人間などいるはずもなく、ましてMRに関しては解答が一つであるとは限らない場合もあります。会員の方々の中でお気づきの事やご意見等がありましたら、是非とも解答や情報提供をお願い致します。

現在のMR分科会の活動として、業務研修会に向けたアンケートを実施いたしました。内容は、研修会テーマである「乳房撮影」と、それに加えて「MR検査の安全性」に関するものとし、MR検査を行っている赤十字施設にご協力いただきました。ありがとうございます。これらを集約し、少しでも参考になる情報を提供することができれば、と思います。

この分科会も発足して日が浅いです。今後とも、姫路赤十字病院：岩見 守人氏、仙台赤十字病院：安彦 茂氏とともに、学術部のサポートの元、がんばってまいります。しかし、よりよい会にするには、我々世話人だけでなく、会員の皆様のご協力があってこそだと思います。なにとぞよろしくお願いいたします。

CT分科会活動について

長野赤十字病院 八町 淳

昨年秋より全国赤十字放射線技師会にCT分科会が発足しました。この会を活発に活動させるには、どのような方法を取れば良いのか。なかなか回答の出ない問題ではありますが、現在の環境の中でメーリングリストを使用し、会員の意思疎通を図ればと考えております。メーリングリストを開始して半年あまりがたちますが、今一つ盛り上がりには欠けるのが現状です。日々検査をこなしている中で、なにか疑問なり困ったことなどが有るはずだと思います。同じ装置を使用している中、それぞれ環境が違う中では検査方法にもおのずと違いが出てくるものと思われれます。今行っている検査方法がほんとうに最良な方法なのか？今の方法がベストだと思っけていても、他の施設での検査方法を知ること、今まで考えが及ばなかった点に気付くことも有るはずで。

アンケートによる方法もあるとは思いますが、リアルタイム性に欠けるのが難点です。また、求めているものが必ず得られる保証もありません。しかし、現在のメーリングリストは、興味の有無に関係なく情報として入ってくる状態ですが、リアルタイム性が有り自分の疑問を直接投げかけることができます。是非、メーリングリストに参加し日ごろ感じている疑問を解決してみたいかでしょうか。疑問だけではなく、「こんな方法を使ったら良い結果が得られたよ」などの情報も重要です。皆様の参加をお待ちしております。

平成19年度日本赤十字放射線技師会 第4回理事会 議事録

- 1、日 時 平成19年11月30日（金） 理事会 13:00～17:00
- 2、場 所 日本赤十字社 本社203号会議室
- 3、出席理事 益井 謙、松山 繁、黒田順平、中里 明、久保田利夫、浅妻 厚、清水文孝、

前川栄寿、石田智広、新美孝永、辻 秀憲、磯田康範

4、議事録作成人 辻 秀憲

5、審議事項

- ①分科会活動状況について
- ②HP改訂について
- ③会誌編纂状況について
- ④業務研修会について
- ⑤赤十字医学会について
- ⑥その他

会長より、今回、學術部に新たに理事として、参画いただいた浅妻氏を紹介し、議題に入る

◎學術部より（久保田理事、浅妻理事）

1. 分科会報告

- ① 3分科会（CT、MR、乳房画像）が活動し、その他の分科会は、来年度より、徐々に発足の予定
- ② 技師会ニュースに各世話人の名簿、挨拶を掲載
- ③ 代表世話人のHPへのアドレス公開は見送り
- ④ HPより、分科会入会の申し込みは9施設あり
- ⑤ MLでの質問回答をHPに掲載したいがいかがか？
この質問については、施設、名前は載せないで“よくある質問”として、HPに掲載することとなった。将来、今までの質問を復元化、体系化して、まとめて小冊子とする予定。
- ⑥ 分科会を支援するために月間「新医療」を3分科会に配布
- ⑦ 分科会利用方法をHPに掲載
今後、更なるHP、MLの普及のため、HPの「分科会情報」の活用や各分科会専用MLを企画したいために来年度予算の加増を切望

2. 業務研修会

- ①研究発表会
 - ・業務研修会、研究発表会の演題募集の案内を技師会ニュース2号に掲載
 - ・一般演題と要望演題とに分け、申し込みは、HPからも可能とする
 - ・要望演題は、乳房に関する画像・撮影・装置等全般で5～6題予定、
座長は、乳房画像分科会世話人に依頼予定
 - ・一般演題は、当番座長として、東北・北海道ブロックの会員を予定
 - ・今回、業務研修会プログラム委員会を理事会で発足、演題採択など理事全員で行う
- ②學術講演 尾形智幸氏（さいたま赤十字病院）に依頼
- ③本社講演については、1時間の講演で依頼中
- ④教育講演については、本理事会で、55周年記念講演とまとめて、大きなイベントとして開催する予定（副会長専務）

⑤19年度業務研修会報告を会誌に寄稿

⑥業務研修会は、来年6月に開催の予定

3. 學術部の提案として、

①表彰規定の見直しとして、奨励賞に関して、医学總會発表も表彰の対象

- ②表彰規定の第4条の2について 学術部からの推薦を、学術部推薦及び会員の自己申請に変更して、表彰委員長が考慮するようにしたい

◎広報部より（清水理事）

1. 報告事項として

①技師会ニュース2号発刊について

12月初旬に発送予定、部数は、1300冊で、内容は、会長の巻頭言から会告、お知らせ、本会の動き、役員名簿まで、当技師会の運営の進捗状況を報告

②技師会ニュース3号発刊について

平成20年3月中旬～下旬に発刊予定。原稿締め切りは、平成20年2月10日予定。発行部数、内容は、2月号と同様。会告については、総会開催を告示する

③会誌編纂進捗状況

- ・前回の第3回理事会議事録に内容は示したとおり、徐々に入稿されており、発刊につき編纂中である
- ・広告応募状況は、機器・造影剤・アイソトープ・フィルム・測定・施設工事関係等の広告で、最終には、30社ぐらいになりそう。尚、差し込み依頼が1社ある

◎企画部より（新美理事）

HPにおいて、WEBサイトのリニューアルとして、2方式があり、それぞれのサイトマップを説明。SMS方式はかなりの額が必要である。CMS方式のほうが、廉価であり、保守契約料、理事会・分科会のMLの導入・更新など管理運営面で、10年間は維持できる予定である。また、経費的には、今までの会誌やニュースの印刷代・送料と相殺できるのではないかとと思われる。

- ※ この新方式によるHP改訂については、予算の関係上、4月の全国の理事会で承認を得るまで凍結と本理事会で決定

◎組織調査部より（石田理事）

- ・認定資格現況調査について、技師会ニュース2号に合わせて同封発送依頼した。回答期限は、12月20日として、全国施設の現況を調査する。HP掲載としたい。
- ・医療技術部調査について、加速化される部門統合（放射線科部と他の部門との統合）の判断情報を得たいため、各施設の技師長（課長）にアンケート質問による書面調査を実行したい。今度の技師会ニュース3号に同封発送予定

◎表彰部より（戸口理事）

現在、各ブロック理事・委員には、手紙にて、表彰該当者推薦依頼を発送してお願いしております。次期理事会には、該当者報告の予定

◎会長より

赤十字医学総会について

今回、大分で開催された日本赤十字医学総会で、評議員として、出席。他職能団体とも協議。当技師会の行動計画を啓示していくことを痛感。各施設事情について事情把握のため、MLなどでの全国ネットを早々につなぐ必要がある。

本会の動き（議事録）

日赤放技ニュース

第1号

◎その他

事務局より

当技師会の55周年記念事業として、歴代の会誌、ニュースを6冊に合本製本しました。

中里副会長より

文書管理として

放射線管理台帳の作成事業の一環として、『放射線業務の安全の質管理マニュアル』
などを基にして、各施設の統一文書化を図りたい。

総務より

- ・メール配信推進の中、議事録もメール配信とする予定。
- ・ブロック理事より理事会提案あり。“各施設の技師長（課長）の協議の場を持って
いただきたい”と意見あり。現在の当技師会の進捗状況報告とともに、会長が対応
する。

以上

平成19年 月 日
監事署名捺印

印

印

- 2、場 所 日本赤十字社 本社403号会議室
- 3、出席理事 益井 謙、松山 繁、中里 明、山縣 徳治、久保田利夫、浅妻 厚、清水文孝、前川栄寿、石田智広、新美孝永、戸口 豊宏、辻 秀憲、磯田康範
- 4、議事録作成人 辻 秀憲
- 5、審議事項
 - ①分科会活動状況について
 - ②業務研修会について
 - ③組織・表彰について
 - ④会誌編纂状況について
 - ⑤来年度予算案について
 - ⑥企画部報告について
 - ⑦その他（HPデモ）

会長年頭所感。昨年までの各部各位の会務への精励への謝意と、業務研修会・総会等へ向け各部門の連携の強化を最大課題とし、会員を見据えた活動を継続。チームワークの向上を目指して行きたい。今年が正念場である。と表明、議題に入る。

◎学術部より（久保田理事、浅妻理事）

1、分科会活動報告

①分科会情報の発信

- ・RSNAトピックスとして、HPとMLを昨年12月26日に発信。
- ・各施設の機器の設置状況を、共有シートにて各分科会に調査依頼した。

②分科会の登録状況は、CT（13名）、MR（11名）、乳房（14名）であり、まだまだ、会員登録をお願いしたい。

③MR分科会

- ・各施設にアンケートを実施（業務調査と乳房MRIの実施状況の調査等）。
- ・アンケート結果は、業務研修会にて報告予定。
- ・MLの対応は、世話人3人にて、担当を決めて質問の回答を行っている。

④乳房画像分科会

- ・各施設にアンケートを2月初旬ごろ実施予定（業務調査と施設及び技師の認定取得状況等）であり、業務研修会にて報告予定。
- ・業務研修会の学術講演は、代表世話人の尾形智幸氏に講演決定、また、参加型臨床画像評価会も検討中。

2. 業務研修会の準備状況

①研究発表の演題

- ・一般演題と要望演題とに分け、申し込みは、HPからも可能とする。
- ・演題数は約20演題を予定して、時間等を検討中。
- ・演題内容は、概要として、目的、方法、結論等、約400字を明記していただくこととする。

②HP・MLの紹介として

- ・第1日目の会長、医療事業部の挨拶が終了時に、HP・MLの紹介をする。当日受付場所にて、ネットを使用してML登録コーナーを設け、また、HP紹介をも

行う。

③本社講演については、総務・事務局にてお願いします。

④教育講演については、「医療機器安全確認について」をフジフィルムの野口氏を予定。

3. 学術部の提案として、

・会長の地区ブロック会議に参加要請（会の方針、技師会活動等を講演）。

◎総務より（辻理事）

業務研修会開催日について

①6月2日（月）、3日（火）と決定。

本社の会議等が5月・6月とかなり過密スケジュールであり、我々の理想通りとは行かない。連日で開催できる日は、上記しかなく、決定した。2日は201号室、3日は101号室へ移動と大変厳しい予定となった。

②情報交換会を昨年同様、2日（月）の17時より開催する。

◎組織調査部より（石田理事）

①「認定資格現況調査」及び「医療技術部調査」を実施

調査については、技師会ニュース2号に合わせて同封発送依頼した。回答期限は、12月20日として返信協力をお願いした。

②アンケート回収状況は、93施設中82施設回答があり、88%の回収率であった。最終集計は、2～3月になる予定。

③アンケート開示については、企画部と相談にて、会員専用のID・パスワードを設け、最終には、HPで掲載する予定だが、纏まり次第、中間報告として発信する。

◎表彰部より（戸口理事）

①奨励賞について

施設は、山田赤十字病院

個人は、該当者なし

②感謝状について

和歌山医療センター 川村 佳生

③功労賞について

各施設の退職者 8人

◎広報部より（清水理事）

①技師会ニュース3号発刊について

平成20年3月中旬～下旬に発刊予定。原稿締め切りは、平成20年2月10日予定。発行部数1300冊、内容は、第4回議事録と同様。ホームページの充実などIT化の進捗を考慮するが、現状においては並行して発刊予定。

②会誌編纂進捗状況

内容については、前回の第4回理事会議事録に示したとおりであり、広告応募状況は30社の予定。

③総会資料について

平成19年度の活動報告として、会告、お知らせ、本会の動きなど多岐にわたり情報を会員に提供する。

④来年度の予算として

前年度までは各部でそれぞれ刊行していたが、来年度からは、広報部が一括して

1年分を予算化し、全体のコストダウンを図りたい。

◎財務より（前川理事）

①役員、ブロック活動費を報告。

②全国の会員で未納者が17名。早急に請求をして、予算化を図りたい。

◎企画部より（新美理事）

日赤技師会HPリニューアルについて

委託業者は、ムツダ商会で、新たな日赤技師会のHP立ち上げを検討中。

①現行のHPは、學術部の分科会活動の機能的運営（世話人と会員とのリアルタイムに意見交換を実施）を中心にした内容であったが、広報部の活動の機能的運営（技師会ニュースや業務研修会抄録集などの紙面印刷配布からHPへの移行を視野に入れ）を加味し、広報部も學術部と同じシステムを利用することを提案したい。

②会長が熱望する災害対策ネットワークの構築を設定。全国93施設に日赤技師会のネットワークを利用することにより、災害情報をいち早く、正確に同じ職域の仲間にリアルタイムに伝達できる。また、災害時における情報を共有化することで、今後、他の地域で災害が起こった時の教訓、行動マニュアルが将来的には、作成されていけばよいと考える。

③法改正や医療事故対策などのコーナーも作成して機能的な運営を考えている。

以上①～③を実現するための初期投資は、約100万円と試算。以後は、多額な投資の必要はなく、Version Up代で済む。今後、サーバ・セキュリティ管理料金として、約2万円/月の経費で運用。

最後に、新美理事の司会で、ムツダ商会によるHPリニューアル（案）のデモンストレーションを行う。全理事との性能、機能の確認や質疑応答が行われた。

以上

平成20年 月 日
監事署名捺印

印

印